

平成 21 年度

二級実験動物技術者認定試験

各 論
(サル類)

試験時間 : 13 時 00 分 ~ 15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

平成 21 年 8 月 23 日

(社)日本実験動物協会

各 論：サル類（問 題）

それぞれの設問について、該当するものを選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

[問 題]

1. サル類の取り扱いについて正しい記述はどれか。
 - 1) ヒトに一番近いので取り扱いは容易である。
 - 2) 環境統御がなされているので安心して取り扱いできる。
 - 3) 人獣共通感染症の可能性があるので特に注意が必要である。
 - 4) 遺伝的に統御されている実験動物である。

2. 輸入サルの取り扱いについて正しい記述はどれか。
 - 1) 新しい環境に馴れるまでに、かなりの時間を要する。
 - 2) 検疫期間は3日で可能である。
 - 3) 群飼育をすれば環境にはすぐに馴れる。
 - 4) 単独飼育ならば直ぐに、おとなしくなる。

3. サル類の年齢推定はどこで行うか。
 - 1) 頭部の毛の多少
 - 2) 脇の下の色
 - 3) 尾の先端の色変化
 - 4) 歯牙の萌出状態

4. アカゲザルの寿命はどれか。
 - 1) 5～8年
 - 2) 10～12年
 - 3) 15～25年
 - 4) 30～45年

5. わが国ではカニクイザルを主にどこから輸入しているか。
 - 1) フィリピン
 - 2) イラク
 - 3) ニュージーランド
 - 4) 米国

6. マカク属サル類の一般的な特徴はどれか。
- 1) 一般的に色盲である。
 - 2) 小脳より大脳の方が発達している。
 - 3) 多産動物である。
 - 4) 肉食動物である。
7. 体重 5kg のサル類の 1kg あたりの循環血液量はどれか。
- 1) 10～20ml
 - 2) 20～30ml
 - 3) 50～80ml
 - 4) 85～90ml
8. マカク属サル類の体温について正しい記述はどれか。
- 1) ヒトよりかなり高い。
 - 2) ヒトより若干低めである。
 - 3) ヒトより若干高めである。
 - 4) ヒトと同じである。
9. マカク属サル類の肋骨の数はどれか。
- 1) 8 対
 - 2) 10 対
 - 3) 12 対
 - 4) 14 対
10. マカク属サル類の永久歯は何本か。
- 1) 12 本
 - 2) 22 本
 - 3) 32 本
 - 4) 38 本
11. マカク属サル類の肺葉の構成はどれか。
- 1) 左肺は、前葉、中葉、後葉。右肺は、前葉、中葉、後葉と中間葉からなる。
 - 2) 右肺は、前葉、中葉、後葉。左肺は、前葉、中間葉、後葉からなる。
 - 3) 右肺は、前葉、中葉、後葉。左肺は 1 葉からなる。
 - 4) 右肺は、前葉、中葉。左肺は、前葉、中間葉、後葉からなる。
12. マカク属サル類の盲腸の形態はどれか。
- 1) 盲腸は、回腸の開口部である回盲弁から先の袋状の部分である。
 - 2) 盲腸は、十二指指腸の開口部である回盲弁から先の袋状の部分である。
 - 3) 盲腸は、胃幽門部の閉塞部である盲腸弁から先の S 字状の部分である。
 - 4) 盲腸は、回腸の開口部である幽盲弁から後の袋状の部分である。

13. マカク属サル類の盲腸の特徴はどれか。
- 1) 虫垂はよく発達している。
 - 2) 一般に虫垂は存在しない。
 - 3) 虫垂はヒトに極似している。
 - 4) 虫垂は未発達であるが、存在感は大きい。
14. 安静時のマカク属サル類の呼吸数はどの程度か。
- 1) 10～20 回/分程度
 - 2) 30～40 回/分程度
 - 3) 50～60 回/分程度
 - 4) 60～80 回/分程度
15. マーモセット類の寿命はどれか。
- 1) 3～ 5 年
 - 2) 6～ 9 年
 - 3) 10～15 年
 - 4) 30～45 年
16. サル類の寿命について正しい記述はどれか。
- 1) カニクイザルとアカゲザルの寿命は 15～25 年である。
 - 2) リスザルの寿命は 5～10 年である。
 - 3) ヒヒ類の寿命は約 15 年である。
 - 4) チンパンジーの寿命は約 80 年である。
17. 現存するサル類の種類はどれか。
- 1) 約 100 種
 - 2) 約 200 種
 - 3) 約 300 種
 - 4) 約 400 種
18. サル類の分類について正しい記述はどれか。
- 1) コモンマーモセットはコモンマーモセット科に分類される。
 - 2) コモンリスザルはマーモセット科に分類される。
 - 3) カニクイザルはオマキザル科に分類される。
 - 4) ニホンザルはオナガザル科に分類される。
19. 広鼻猿類はどの地域にすんでいるか。
- 1) 中央・南アメリカ大陸
 - 2) 西アジア
 - 3) アフリカ大陸
 - 4) 東南アジア

20. 医学、生物学の実験に用いられるサル類は約何種類か。
- 1) 30 種程度
 - 2) 40 種程度
 - 3) 50 種程度
 - 4) 60 種程度
21. アイアイは何類に分類されるか。
- 1) ロリス類
 - 2) キツネザル類
 - 3) メガネザル類
 - 4) 狭鼻猿類
22. アカゲザルについて正しい記述はどれか。
- 1) バックグランドデータは豊富とはいえないが、中型なので多用される。
 - 2) ニホンザルと同じマカク属に属する。
 - 3) ニホンザルより、やや小型であるが、攻撃性は低い。
 - 4) 体毛は全身が灰色がかったオリーブ色である。
23. マカク属の体重計の秤量はどれか。
- 1) 1～ 2kg
 - 2) 5～10kg
 - 3) 10～30kg
 - 4) 50～90kg
24. アカゲザル、カニクイザル、タイワンザルの飼養等の許可は主にどこが所管するか。
- 1) 農林水産省
 - 2) 文部科学省
 - 3) 環境省
 - 4) 外務省
25. カニクイザルについて正しい記述はどれか。
- 1) バックグランドデータが少ない。
 - 2) ヒトA型肝炎研究に多用されている。
 - 3) 大きさとしてはアカゲザルより一回り小さい。
 - 4) ニホンザルはカニクイザルの亜種である。
26. コモンリスザルについて正しい記述はどれか。
- 1) 広鼻猿に分類される。
 - 2) ヒトA型肝炎研究に使用されている。
 - 3) ワクチンの神経毒力試験にも使用されている。
 - 4) 中型のサルでマカク属に分類される。

27. コモンリスザルについて正しい記述はどれか。
- 1) 体長に比べて尾は短い。
 - 2) 体毛は灰茶色である。
 - 3) 新世界ザルに分類される。
 - 4) ウイルス感染研究に多用される。
28. コモンマーモセットについて正しい記述はどれか。
- 1) ビタミンD欠乏症の発症に注意しなければならない。
 - 2) 脳神経生理実験に多用されている。
 - 3) 風疹ワクチンの神経毒力試験に使用されている。
 - 4) ネコ程度の大きさである。
29. 検疫管理として、サル類のツベルクリン反応検査はどの部位で行うか。
- 1) 上唇の皮下
 - 2) 耳介内側の皮内
 - 3) 眼瞼皮内
 - 4) 臀部の皮下
30. サル類のツベルクリン反応検査について正しい記述はどれか。
- 1) 検疫期間中、1週間以上の間隔を開け3回以上実施する。
 - 2) 検疫期間中、2週間以上の間隔を開け3回以上実施する。
 - 3) 検疫期間中、2週間以上の間隔を開け2回以上実施する。
 - 4) 検疫期間中、2週間以上の間隔を開け4回以上実施する。
31. ニホンザルを飼育する場合、飼育施設の届出はどこに行くか。
- 1) 文部科学省
 - 2) 農林水産省
 - 3) 厚生労働省
 - 4) 都道府県知事
32. アカゲザル1日1頭あたりの固型飼料の給餌量はどれか。
- 1) 100～150g
 - 2) 150～200g
 - 3) 250～300g
 - 4) 300～450g
33. 小型ザル1日1頭あたりの固型飼料の給餌量はどれか。
- 1) 10～15g
 - 2) 15～20g
 - 3) 25～30g
 - 4) 40～80g

34. カニクイザルの1日あたりの摂水量はどれか。
- 1) 100～120ml
 - 2) 150～180ml
 - 3) 200～600ml
 - 4) 650～800ml
35. マーモセット雌の性成熟年齢はどれか。
- 1) 1歳
 - 2) 2歳
 - 3) 3歳
 - 4) 4歳
36. カニクイザル雄の性成熟年齢はどれか。
- 1) 1.0～1.5歳
 - 2) 4.0～4.5歳
 - 3) 6.0～7.0歳
 - 4) 8.0～10.0歳
37. チンパンジーの雌の性成熟年齢はどれか。
- 1) 4～8歳
 - 2) 6～10歳
 - 3) 7～11歳
 - 4) 8～13歳
38. サル類の顔面点状入墨法で識別可能な番号はどれくらいまでか。
- 1) 80番位
 - 2) 100番位
 - 3) 110番位
 - 4) 120番位
39. サル類の月経出血期間は通常どれくらいか。
- 1) 1～2日
 - 2) 2～4日
 - 3) 5～7日
 - 4) 8～9日
40. サル類の月経周期について正しい記述はどれか。
- 1) マカク属のサルでは約33日周期である。
 - 2) 小型ザルには月経周期はみられない。
 - 3) ヒヒ類やチンパンジーでは約28日周期である。
 - 4) ニホンザルには月経周期はみられない。

41. リスザルの出産期はいつか。
- 1) 12～1月
 - 2) 2～3月
 - 3) 4～5月
 - 4) 6～7月
42. 厳格な季節繁殖ザルはどれか。
- 1) ヒヒ類
 - 2) アカゲザル
 - 3) コモンマーモセット
 - 4) ニホンザル
43. マカク属サル類において交配後 28 日の子宮触診において子宮の大きさはどれか。
- 1) ウズラ卵大
 - 2) 鶏卵大
 - 3) ゴルフボール大
 - 4) ソフトボール大
44. リスザルの平均妊娠日数はどれか。
- 1) 164日
 - 2) 167日
 - 3) 170日
 - 4) 174日
45. アカゲザルの平均妊娠日数はどれか。
- 1) 164日
 - 2) 167日
 - 3) 170日
 - 4) 174日
46. カニクイザルの新生子の体重はどれか。
- 1) 100～150g
 - 2) 150～200g
 - 3) 200～250g
 - 4) 300～350g
47. アカゲザルの新生子の体重はどれか。
- 1) 250～350g
 - 2) 470～500g
 - 3) 560～660g
 - 4) 700～720g

48. カニクイザルの新生子の体重が2倍になるのはいつ頃か。

- 1) 生後1.5か月齢
- 2) 生後2.5か月齢
- 3) 生後3.5か月齢
- 4) 生後4か月齢

49. カニクイザルの離乳はいつ頃か。

- 1) 生後1か月齢
- 2) 生後3か月齢
- 3) 生後4か月齢
- 4) 生後6か月齢

50. 産子を2子以上生むサルはどれか。

- 1) ヒヒ類
- 2) アカゲザル
- 3) ガラゴ類
- 4) ニホンザル